

12月学校評価のお知らせ

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご支援とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、12月に皆様のご協力によります保護者アンケート、児童が回答しました児童アンケート、本校教員のアンケート(自己評価)を通して、学校評価を行いました。

1月26日の学校評議員会にて、評議員の皆様それぞれを審議していただきましたので、その主な内容をお知らせいたします。

尚、アンケート回答のAは「そう思う」、Bは「どちらかというと思う」、Cは「どちらかというと思うわない」、Dは「そう思わない」を表します。(A・Bは肯定的評価、C・Dは否定的評価)また、「対象」欄の「保」は保護者、「児」は児童を表します。

【アンケート結果より】

1 児童の学力向上

No	対象	質 問	A	B	C	D	A+B
1	児	勉強の内容が分かります。	56.3	35.6	6.7	1.5	91.9
	保	子どもは、学習内容を理解している。	37.8	50.9	10.1	1.1	88.7
2	児	授業では、課題について進んで考えています。	56.3	32.2	8.5	3.0	88.5
3	児	授業では、自分の考えが確かになったり、変わったりしています。	61.7	32.3	4.8	1.1	94.0
4	児	聴くときは、相手の話を分かろうとして聴いています。	68.3	23.6	6.6	1.5	91.9
5	児	書くときは、相手に分かるように書いています。	56.7	32.8	7.5	3.0	89.5
6	児	毎日、家で勉強をしています。(10分間×学年以上)	57.0	27.8	11.1	4.1	84.8
	保	子どもは、毎日、家庭学習に取り組んでいる。(10分間×学年以上)	36.5	38.3	19.5	5.6	74.8
7	児	外国語の授業では、英語の表現をくり返し練習して、使っています。	65.4	25.1	8.4	1.1	90.5

No3 思考が深まる授業 No1 学習内容の理解について

本校では、児童の思考が深まる授業(授業の中で自分の考えが変わったり、確かなものになったりする授業)をめざし、学校研究に取り組んでいます。その結果、児童アンケートではA評価は61.7%となりました。児童が学習内容をより理解できるように、また、思考を深められるように、教師の指導を見直し、手立てを工夫してまいります。

No7 外国語・外国語活動について

5.6年生の外国語・3.4年生の外国語活動では、A・B肯定的評価が90.5%ですが、英語に苦手意識をもっている児童もいるようです。英語に慣れさせるためのアクティビティ、言語活動を積極的に取り入れ、苦手意識の解消につながるよう努めます。

2 人間関係力の向上

No	対象	質 問	A	B	C	D	A+B
8	児	自分からよいあいさつをしています。	58.3	31.0	9.6	1.1	89.3
	保	子どもは、自分からあいさつをしている。	36.0	47.9	13.9	2.2	83.9
9	児	生活目標を達成するために、自分の行動をしっかりふり返っています。	51.3	38.2	7.5	3.0	89.5
10	児	係や委員会では、学級や学校のために進んで活動しています。	66.9	27.5	4.1	1.5	94.4
11	児	掃除のときは、無言ですみずみまで掃除をしています。	31.9	47.4	15.9	4.8	79.3
12	児	相手のことを思いやる言葉づかいや行動をしています。	45.8	41.7	9.2	3.3	87.5
	保	子どもは、相手のことを思いやる言葉づかいや行動をしている。	31.1	59.6	9.0	0.4	90.7

No8 挨拶 No10 学級や学校のための活動について

挨拶については「いつでも、どこでも、だれにでも、自分から先に」をキーワードにして取り組んでいますが、挨拶をされても返せない児童がいます。挨拶を返す、会釈をするなど「相手の前を素通りしない」指導をしていきます。

学級や学校を良くするための活動については、ホームページで紹介した除雪ボランティアなど、児童が自主的に関わった活動を認めたり広めたりしています。今後も児童から学級や学校を良くするための活動をしたいという声上がるよう、学級活動や児童会活動を盛んにする指導や支援をしていきます。

3 健康・安全教育の推進

No	対象	質 問	A	B	C	D	A+B
13	児	自分や友達の健康を考えて行動しています。(手洗い、マスク、健康チェック表等)	79.6	17.0	3.0	0.4	96.6
	保	子どもは、自分や周りの人の健康を考えて行動している。(手洗い、マスク、健康チェック表等)	50.4	44.4	4.9	0.4	94.8
14	児	避難訓練を真剣に行っています。	86.6	13.1	0.4	0.0	99.7
15	児	好ききらいをしないで給食を食べています。	61.6	25.4	11.9	1.1	87.0

No13 自他の健康を考えた行動について

A・B肯定的評価は、児童評価 96.6%、保護者評価 94.8%となっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童は健康チェック表の提出や清潔なマスクの着用、手洗い等を日常的に行い、自他の健康を考えた行動力は高まっています。インフルエンザの流行が見られないのも、その成果と考えます。保護者の皆様には、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

No14 真剣な避難訓練について

児童のA・B肯定的評価は 99.7%となっていますが、2月1日に行われた避難訓練では、ふざけたり話したりするなど、真剣さに欠ける様子が見られました。命に関わる場面や訓練では、児童全員が真剣に行うことができるようくり返し指導していきます。

4 その他

No	対象	質 問	A	B	C	D	A+B
16	児	学校に行くのが楽しいです。	58.5	31.1	8.5	1.9	89.6
	保	子どもは、元気に学校に行っている。	81.8	16.4	0.7	1.1	98.2
17	保	子どもは、家で学校の話をしている。	50.7	38.4	8.2	2.6	89.1
18	保	子どもは、家族と社会のルールやマナーについて話し合っている。	39.4	53.2	7.4	0.0	92.6
19	保	便りやホームページ、学校メールを通して、学校の取組等がわかる。	47.0	49.2	3.8	0.0	96.2

No18 社会のルールやマナーを話し合うについて

昨年度は「インターネットやゲームのルールについてお子様と話し合っている」という項目でした。本校でもネット関連のトラブルがないわけではありません。ネットゲームでの課金に関わるトラブルやネット上での暴言、生活リズムの乱れが見られます。インターネットやゲームのルールを含め、社会のルールやマナーについてお子様と話し合ってみてはいかがでしょうか。

【保護者アンケートに寄せられた主なご意見と学校の対応】

多くのご意見等をいただきましたことに感謝しております。ここでは、主なご意見を掲載させていただきました。紙面の都合上、似ているご意見をまとめたり、保護者の皆様の丁寧な言葉を平易な表現にしたりしました。ご了承ください。

[ご意見等] コロナ禍で学校行事が少なくなった分、先生や他の保護者との接点が減り、いろいろなことが共有できない状況です。子供も学校のことは聞いたことしかあまり話さないの、学校の様子が詳しく分かりません。

[学校より] 学校で気になったことは連絡させていただいていますが、なかなか細かいところまで見切れていないこともあると思います。ぜひ、些細なことも教えていただけるとありがたいです。また、学校での行事等の様子をホームページに随時アップしていますので、どうぞご覧ください。

[ご意見等] 上級生との交流があり、お友達ができたことを嬉しそうに話してくれるのを見て、嬉しく思い、よいことだなと感じています。

[学校より] 感染症対応のため、全校でのなかよし班活動（縦割り活動）はできていませんが、2学年での交流活動は2学期以降実施してきました。今後も実施方法を工夫しながら学校行事等を行っていきます。

【学校評議員会での主なご意見】 →は学校からの回答

(1) 教育理念・教育目標について

- ・教育理念や教育目標を変更することは大変なことだが、大切なことと考える。子供たちにも理解しやすい目標になっている。

(2) 学校評価結果について

- ・生活態度（挨拶）のように、教員評価（A77.8%）と児童評価（A58.3%）の結果に差が見られるものがあるが、その理由をどのようにとらえているか。
→生活態度（挨拶）では、教員は「良い挨拶ができるように指導している」という観点で評価しているが、児童は「良い挨拶をしている」という観点で評価している。児童にすると自分は十分できていないと評価してしまう傾向があり、教員評価より低い結果が出たと考える。児童ができていることはできていると客観的に評価したり、達成感や自己有用感を実感したりできるよう指導していく。

(3) コロナ禍の教育活動について

- ・休業等の影響で教育課程の実施に遅れはないか。
→長期休業の短縮や学校行事等の見直しの結果、遅れはない。
- ・コロナ禍であっても、児童の思い出づくりのための事業を実施してほしい。
→計画通りにできなかった行事等はあるが、やり方を工夫して実施している。例えば高学年の宿泊体験学習は日帰りで行い、他学年も町バスや民間バスを借り入れて校外学習を実施した。
- ・思い出づくりは難しい状況だが、先生方が工夫して実施してくれたことや、学校再開後、支えてくれた地域の方々に感謝したい。

(4) 教職員の多忙化改善について

- ・時間外の勤務は、できる限り減らして行ってほしい。将来、教員をめざす若者が減らないようにするためにも大事である。
- ・学校現場には次々と新しいことが導入され、多忙感が強くなっているかもしれない。新しいことに取り組むことは大変だが、やりがいや楽しさをもって取り組んで行ってほしい。

今回の学校評価に際しまして、保護者の皆様にはアンケートへのご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆様からいただきましたアンケートの結果やご意見を、子供たちの成長につなげるよう努力してまいります。今後とも、学校教育へのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。